



# しらら

平成8年 2月号



**白鳥さん  
来年も来てね!**

2月9日、村観光協会（会長・若山恭次）が、子どもたちの動物愛護の心を育てようと、村内保育所園児を集め、白鳥のえづけを行いました。

子どもたちは「来年もまた来てね」と言いながら、小さな手で白鳥にえさを与えていました。

# 村民の期待を背に 十二人の新議員誕生

## 村議会組織会

議長に 浜田 春士氏(再任)  
副議長に 奈良 正勝氏(新任)

任期満了に伴う村議会議員一般選挙が一月十四日、村内四カ所で投票が行われました。午後六時半から村コミュニティセンターで即日開票され、十二人の新議員が誕生しました。

### 村議選確定投票

今回の村議選から定数が十四人から十二人に削減され、現職馬として行われ、少数激戦の選挙戦が繰り広げられました。また、投票率も九七・二〇%

と非常に高く、有権者の関心の高さを示す一戦となりました。開票の結果、現職十二人が全員当選し、村民の信頼を全身に受け、村発展のために活躍が期待されます。

当三〇三 葛西敬太郎 無現  
当三〇二 福井 俊美 無現  
当三〇〇 浜田 春士 無現  
当一九八 成田 長代 無現  
当一八六 相澤 治 無現  
当一七三 島津 典明 無現  
当一七一 奈良 正勝 無現  
次一五〇 中畑 藤雄 無現  
当一七〇 里川 進 無新  
当日の有権者数二、六七八人  
投票者数二、六〇三人  
投票率九七・二〇%

新議員が誕生してから初めての村議会(組織会)が二月一日に開かれ、議長に浜田春士氏を再任、副議長に奈良正勝氏を新任しました。また、各常任委員会などは次のとおりです。◎印は委員長、○印は副委員長

▼総務文教委員会  
◎工藤武則、○葛西敬太郎、浜田春士、福井俊美、相澤治、中畑藤雄

▼産業建設委員会  
◎笹山精喜、○成田長代、奈良正勝、三和均、島津典明、木村清左衛門

▼議会運営委員会  
◎葛西敬太郎、奈良正勝、中畑藤雄、笹山精喜

▼西北五精神薄弱児施設組合議員 木村清左衛門

▼西北五環境整備事務組合議員 中畑藤雄

▼津軽北部広域事務組合議員 成田長代、島津典明

▼監査委員 相澤治

## 新議員の顔ぶれ

氏名の後の白ヌキは当選回数



浜田 春士 ①



工藤 武則 ③



成田 長代 ①



三和 均 ②



相澤 治 ②



木村清左衛門 ①



島津 典明 ①



笹山 精喜 ③



奈良 正勝 ①



葛西 敬太郎 ①

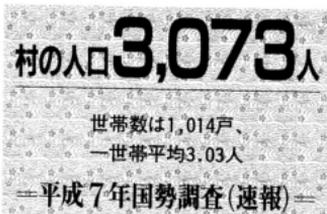


中畑 藤雄 ②



福井 俊美 ③

<敬称略>



昨年10月1日現在で行われた国勢調査(人口・世帯数)の結果が公表されましたのでお知らせします。なお、速報値ですので後日、総務庁より発表される数値と一致しない場合があります。

市浦村の人口は、前回の調査(平成2年)に比べ295人減少し、3,073人(男1,444人、女1,629人)に、世帯数は30世帯減少し、1,014世帯という結果になっています。

人口を地区別に見てみますと、6地区すべてが減少していますが、特に磯松地区が18.6%、脇元地区が12.3%と高い減少率を示しています。また、世帯数では横ばい状態の2.9%の減少となっており、1世帯あたりの平均人員は3.03人(平成2年・3.23人)で、依然、核家族化が進んでいることがうかがえます。

一皆さまのご協力  
ありがとうございました—



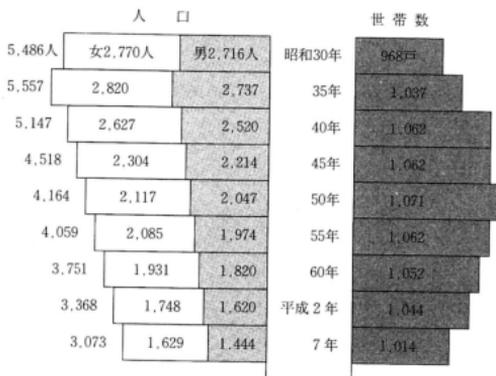
相内・実取地区に建設中の  
総合交流促進センター

## 地区別人口・世帯数一覧表

地区	総人口(人)		増減数(人)	増減率(%)	世帯数(戸)		増減数(戸)
	平成7年	平成2年			平成7年	平成2年	
相内	1,209	1,252	△43	△3.4	392	393	△1
桂川	74	84	△10	△11.9	23	22	1
太田	262	276	△14	△5.1	88	86	2
脇元	522	595	△73	△12.3	189	194	△5
磯松	262	322	△60	△18.6	97	100	△3
十三	744	839	△95	△11.3	225	249	△24
計	3,073	3,368	△295	△8.8	1,014	1,044	△30

## 市浦村の人口・世帯数の推移

(昭和30年～平成7年)



総合交流促進センター建設工事が四月末のゴールデンウィークオープンに向けて急ピッチに進められています。場所には相内・実取地区で、昨年完成した特産品加工センターに隣設されています。

この施設は、都市と山村地域の交流を目的とし、地場産品の販売所、郷土料理レストラン、体験交流コーナーなどを設け、昨年十月に工事着工。地元ヒバ材を使った木造平屋建てで、広さは約五百八十平方メートル。また、建物の屋根の形が特徴的

# まもなく完成!

## 総合交流促進センター

で、村特産品の市浦牛をモチーフに製作されています。

このセンターの地場産品販売所では、シジミ貝を使った特産品や地元ヒバ材を使った工芸品などを販売、レストランでは市浦牛のステーキやシジミラーメンなどを提供。また、体験交流コーナーでは、木工芸品の製作体験や「十三の砂山」などの郷土芸能を披露する予定です。村関係者は村内の交流拠点として、この施設のオープンに大きな期待をよせています。

# NEWS フラッシュ

## 演劇で文化交流

### 阿蘇部族結成十周年記念公演

演劇サークル「阿蘇部族」(代表・三浦美智男)が二十一日、友好町村である上ノ国町で創作劇「ボサマの昔っこ」を公演しました。



上ノ国町で熱演の阿蘇部族

これは、ふるさとまつりなどで毎年皆さんに感動と笑いを提供している阿蘇部族が今年で結成十年を迎えたのを記念しての公演。当日は、昨年十月に完成したばかりの同町総合福祉センター「ジョイまぐら」で上演会場では、団員らの迫真の演技

に上ノ国町民から大きな拍手が送られていました。劇団一行は、演劇を通して上ノ国町との文化交流をしていきたいと今後の抱負を述べていました。

## 鬼

### は外、福は内



やさしい鬼さんと記念撮影

二月二日、脳元保育所(所長 桑野尚子)で節分が行われ、子どもたち十五人は鬼がやってくる、逃げながら一斉に豆まきを開始、鬼退治にむけて「鬼は外」と言いながら豆まきをしていました。中には泣き出す子どももいましたが、だんだん鬼に慣れてくると、元氣一杯に鬼めがけて豆をぶつけていました。鬼も最初はこわい鬼でしたが、最後はやさしい鬼になり、子どもたちと一緒に記念撮影をしてみました。

## 相

### 内派立チーム三年連続V

#### 第12回ふれあいゲートボール大会

昨年十二月一日、B&G海洋センターでふれあいゲートボール大会。冬の陣が行われ、今年の日程を終了いたしました。



3年連続Vの派立チーム

この大会は、春夏・秋・冬と年四回に分けて行われ、年間の総合成績で順位を決定するもので、村内七チームが参加。今年で十二回目を迎え、激戦が予想されたこの大会も内派立チームが三年連続十回目の優勝を成し遂げました。団体表彰などは次のとおりです。

#### ▼団体戦

- 優勝 相内派立チーム
- 二位 脳元はまなすチーム
- 三位 十三子チーム

- ▼個人賞
- 最優秀選手賞 佐藤まる(相内派立)、敢闘賞 斎藤正彦(脳元はまなす)、優秀選手賞 越谷金七(十三)、三相子サ(相内吉野)、柏谷ソヨ(相内派立)、秋田米子(太田)、亀倉ちさ(脳元はまなす)、佐藤ノリ(脳元はまなす)、秋田谷文雄(磯松)

## 早

### く揚げたいな

#### たこづくり教室

昨年十二月二十五、二十六日の二日間、村コミュニティセンターで「たこづくり教室」が開かれました。



自慢のたこを手にか

これは、たこづくりをとおして健康で文化的な精神を養おうと教育委員会が主催したもので、三浦儀照会長・会員二十一名の皆さんが指導にあたり、初日は下絵描きや裏張り、二日目は色付けと仕上げ作業まで、参加した児童は慣れない手つきで取り組んでいました。特に髪の毛の描き方などに苦勞していましたが、愛好会の皆さんの分かりやすい説明と指導で、見事な津軽風を完成させていました。参加した児童たちは、自分でつくった自慢の風を「早く揚げたいな、人より高く揚げたいな」と誇らしげに手にしていました。

# よろしく民生・児童委員です。

## 市浦村民生・児童委員名簿

担当地区	氏名	電話番号
相内	田中 トキ	62-3238
相内	三和 淑子	62-3070
相内	佐々木 國江	62-3256
相内	成田 ユリ	62-3275
桂川	越野 清志	62-3212
太田	秋田 洋子	62-3036
磯松	伊南 辛男	62-2342
脇元	村上 ヨシエ	62-2388
脇元	山田 節子	62-2325
脇元	石岡 ツルエ	62-2781
十三	工藤 嘉四蔵	62-2484
十三	有馬 正年	62-3131
十三	梶浦 ミナ	62-2069



田中 トキさん



成田 ユリさん



佐々木國江さん



三和 淑子さん



伊南 幸男さん



秋田 洋子さん



越野 清志さん



梶浦 ミナさん



有馬 正年さん



工藤嘉四蔵さん



石岡ツルエさん



山田 節子さん



村上ヨシエさん

この程、民生・児童委員の改選が行われ、十三人の方が厚生大臣より委嘱されましたので紹介します。

任期は平成七年十二月一日から平成十年十一月三十日までの三年間。家庭内や学校での困りごとなどがありましたら、お気軽に地区担当委員にご相談ください。

二月四日、ようやく着雪した吉野スキー場で、「ゆきんこしうら'96」が開催されました。これは、雪国ならではの遊びを親しめることを目的に実施したもので、当日は村内小学校から四十人の児童が参加。予告タイムレースやムカデ競争、ペグソリ引き競争などの種目が行われました。中でも児童に人気があった種目は、滑るようにビニール袋を履きながら綱を引き合う雪上綱引き競技で、転びながらも懸命に引き合っていました。昼食には恒例の豚汁が配られ、児童らは寒空の中でふうふうい



力が入ります雪上綱引き

## 雪

### の上で元気一杯!!

ゆきんこしうら'96

いながらあったかい豚汁に舌鼓を打っていました。こうして児童たちは元気一杯に雪に親しみ楽しい一日を過ごしました。



すっかり明るくなった吉野スキー場

## 明

### るいスキー場に変身

相内・吉野スキー場

この程、吉野スキー場の照明施設が整備されスキーヤーから好評を得ています。

これは、村が自治総合センターの一般コミュニティ事業の助成をうけ整備したものです。今までも簡易照明塔はありましたが、明るさが足りず十分なナイトスキーができませんでした。この照明施設の整備により、安全なナイトスキー場として、住民にご利用していただけます。

史蹟物語

後、  
三年の取  
手邊様

(3)

三日厨  
みかど厨

源義家が永保三年(一〇八三)六月(また九月説もある)に陸奥守兼鎮守府將軍に補任されて多賀城(国府)に入ったのは八月十三日のことでした。

この度は「前太平記」によつて前回のことをもう一度再現させながら話を進めます。

清原真人(真人とは古代に制定された姓の一つです)真衡は、秀武・清衡



「前太平記」所収、三日厨の図

家衡らの反逆者らの征伐のため、再び軍勢を整え、みずからは出羽の秀武征討に出発しようとした矢先に国司義家の奥州下向の報せが届きます。

それを聞いた真衡は、ここは一番国司を警戒して好意を得ることが先だと考えます。そこで財宝を積んで三日厨の給仕を動めたことは前号で述べた通りです。これを「三日厨」と呼んでいきます。多分、秀武らの反逆と応援の依頼もあったものと想像されます。また、義家の清原氏に対する感懐は決して好いものではなかったと思われる。前九年合戦で義家の父親

義が論功行賞で伊予守に、義家は出羽守に補任されたのに対して清原武則(真衡の祖父)は鎮守府將軍という破格の恩賞を受けたことは前に述べた通りです。こんなことを考えると清原家の内輪扱めを機として却つてその滅亡を頭に描いてい

たかも知れません。

贈り物について

それは兎にも角にも、三日厨の真衡の義家への贈り物には驚かされます。毎日駿馬五十疋、三日だと百五十疋と なります。金銀・絹布・鷹羽、水豹も三日だと物凄いな数になったことでしょうか。数も知らず担ぎ続けさせ限りなく要せせり」と「前太平記」の若者も驚いています。

このような財宝を真衡はどのように手に入れたものでしょうか。武則・武貞(真衡の父)からの遺産を相続したものであったことには間違いないのですが、駿馬は糠部(青森県三戸・七戸・八戸等)の名産です。金銀・絹布は現在の岩手県産物です。鷹の羽や水豹の皮は沿海州からサハリン、北海道、カムチャツカが名産です。馬・鷹羽・水豹

皮はどう考えても津軽安倍・安藤(粟)氏との関りあいにおいて入手したものとしか考えられません。津軽の在地豪族が当時遠く東北アジア大陸や樺太・北海道・カムチャツカと海上交易をして大勢力に台頭していたものでしょう。もうその当時からわが十三歳が集散地として賑やかであったと私は考えています。その豪族が安倍・安藤(粟)氏であったものと推測します。

真衡の財宝は十三歳安倍・安藤(粟)氏を介して入手したものと確信していま

す。伝承的な安倍貞任の子高星丸がそれに該当すると考える人があつてもよいでしょう。もう二十三歳の立派な武人に成長していたでしようから。

真衡の妻の才覚

三日厨を動めた真衡は義家から暇を買つて白鳥館に帰ると直ちに、前回よりも大勢の兵を動員し、半分は白鳥館に残して清衡・家衡の逆襲に備え、親からは半分の大勢を率いて出羽の秀武征伐に出発します。清衡・家衡はこれを受けて再び真衡の館に攻撃を加えます。ちょうどその節義家の部下の兵藤大・正経と伴佐助兼とがこの方面の巡検に来ていて真衡の館の近くに居を構えていました。

ところが、真衡の妻女は才智の鋭い女丈夫でした。すぐ様使者を同人の許に送り、この事情を告げ、この館にも兵が多く清衡・家衡の軍を防ぎ戦つていられるけれども、何しろ私は女の身大將軍の器ではありません。どうか、この館の器になつて何かの軍の下知をなし、戦の有様を国司義家にお告げ下さるようになって下さい」と頼みます。国司義家の権威をバツカに一挙に反逆者を征伐する策に出たわけですが、この両人もまんまとこの策略に乗つてしまっています。こうして、国司がこの内輪採めに深く介入する端緒になります。上掲は三日厨の絵図です。



## 市浦村の人口と世帯数

平成8.2.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,318	1,318	413
桂川	75	75	23
太田	296	297	91
脇元	572	572	201
磯松	322	322	114
十三	808	805	249
計	3,391	3,389	1,091

## 少年野球教室

## 参加者募集中!

少年野球の技術的向上のため野球教室を開催します。参加者を下記のとおり募集しますのでどしどしお申し込みください。

## ▶対象

村内の小学2年生から中学3年生まで

## ▶場所

B & G 海洋センター体育館

## ▶期日

小学生 3月4・6・8・11日

中学生 3月13・15・18・22日

## ▶時間

午後6時30分から8時まで

## ▶持参するもの

バット・グローブ・帽子・ズック・小タオル

## ▶実施内容

- あいさつ、礼儀の指導
- 基礎野球の指導
- トレーニング方法の指導
- 応用野球(実技指導)

## ▶その他

参加料は無料ですが、スポーツ傷害保険料として400円を負担していただきます。

## ▶申し込み

村教育委員会生涯学習係 ☎62-3751)まで。

## 親子スキー教室開催

八甲田山スキー場で春スキーを楽しんでみませんか?

村では、親子のふれあいを目的に移動スキー教室を開催します。参加希望者は下記までお申し込みください。ただし、子どもだけの参加はできません。

## ▶とき

平成8年3月27日(水)

## ▶ところ

八甲田山スキー場

## ▶参加料

無料(リフト代及び食事代は自己負担となります。)

## ▶募集人員

先着30名まで

## ▶しめきり

平成8年3月22日(金)まで

## ▶交通手段

村コミュニティセンターより村教育委員会バスが出ます。

## ▶申し込み

村教育委員会生涯学習係 ☎62-3751)まで。

## 年金のお話

## 移動年金相談所開設

このたびは弘前社会保険事務所では、厚生年金受給資格期間がありながら年金請求をしていないと思われる人を対象とした潜在受給権者の移動年金相談を下記の日程で行います。

せっかくの機会ですから、一般の方々でも年金に対する相談がありましたら、是非おいでください。

## ▶とき

平成8年3月5日(火)

午後1時から4時30分まで

## ▶ところ

青森あすなろホール(市浦)  
詳しくは、役場住民福祉課  
国民年金係まで。

「年金受給で幸せな老後を!!」

## 県内の交通事故概況

(平成8年)

青森県交通対策協議会

1月		累計	死者のうち シートベルト	高齢者の死者	
発生	631 (774)	631 (774)		高 齢 者 の 死 者	1 (2)
死者	5 (7)	5 (7)		飲酒運転による死者	2 (1)
傷者	775 (1,007)	775 (1,007)		着用義務者 (着けなければならない人)	3 (6)
				非着用者 (着けていなかった人)	3 (3)
			着けていれば 助かったと思われる人	1 (1)	

( )内は前年。累計は1月から。

会費

350円

1年間

交通災害共済に  
家族そろって加入しましょう

共済期間

平成8年4月1日から

平成9年3月31日まで

●交通災害共済に  
ついての問い合わせは  
役場総務課  
総務係まで  
(☎62-2111)

青森県交通災害共済組合

◆ ポスター部門 ◆



●小学校三年生

笹山 雅博(臨元小)



●小学校二年生

亀田 淳哉(十三小)



●小学校一年生

岡 悟(太田小)



No.97



三上 佳子(相内小)



佐々木麻理絵(臨元小)



奈良 勝博(太田小)

平成7年度

健康づくりポスター・標語

入選作品紹介



●小学校六年生

工藤 恵理(十三小)



●小学校五年生

吉田 典史(相内小)



●小学校四年生

奈良 香織(太田小)



成田 仁美(臨元小)



相坂 幸世(十三小)



山崎 真也(相内小)

(萩原久美子(東京内)

▽ご結婚

木津谷 楓(相内) 忠宏  
古川 凌(臨元) 博行  
中山 瑠奈(磯松) 明  
村山 介(相内) 和長  
佐々木 大介(相内) 金志  
山岡 駿太郎(十三) 壽行  
新岡 和久(十三) 金志

▽お誕生

▽おくやみ

下山 嗣雄(相内) 80歳  
中島 弘文(相内) 82歳  
工藤 兼作(相内) 82歳  
依藤 友之助(十三) 86歳  
葛西 友之助(十三) 86歳  
川瀬 友之助(十三) 85歳  
亀田 友之助(十三) 85歳

濱野美奈子(折戸内) 送松関三内(賀元浦)  
成田 晴光(木下) 戸内  
加藤 晴仁(磯下) 三内  
藤田 美智子(磯下) 三内  
山本 美智子(磯下) 三内  
伊藤 幸道(相内) 賀元浦  
中山 幸道(相内) 賀元浦  
山崎 幸道(相内) 賀元浦  
伊藤 幸道(相内) 賀元浦  
山西 幸道(相内) 賀元浦



◆ 標語部門〈市浦中学校〉◆

<1年生の部>

おやつより ごはんを食べて 元気だせ  
三 浦 愛  
たおせるぞ 手洗いうがいで バイキンを  
小 川 優

<2年生の部>

見なおして 自分の体 もう一度  
奈 良 あずさ  
タバコには 悪魔がいっぱい 住んでいる  
若 山 千 草

<3年生の部>

白い歯は 君の印象 すてきだね  
中 井 裕 子  
おじいさん 塩分取りすぎ 赤信号  
米 谷 俊 彦